

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
しん 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

水道料金値上げしないで!

日本共産党 愛知県企業庁に見直しを要求

愛知県企業庁は、2024年10月と2026年4月引き上げの2段階で、県営水道料金の引き上げの計画を示しました。1月17日、日本共産党県議団(しもおく奈歩議員、豊橋市選出)と県内の日本共産党地方議員らで企業庁から、料金改定案についての説明を受けました。内田議員も参加して企業庁に質問しました。その後、内田議員は町民全体に利益がある施策を実施するよう、町水道課に申し入れ、懇談しました。



物価高騰 4億円の純損失を理由に値上げ提案

参加者は、「物価高から住民の暮らしを守るため、値上げしないほしい」と要求しました。企業庁側からは1立方メートルあたり6円値上げの提案がありました。企業庁は、燃料費高騰による電気料金の値上げなどで、2022年度決算(見込)の純利益は約3億円であったが、2023年度は約4億円の純損失を見込んでいて、今後も物価上昇に伴う維持費の増加が見込まれることなどをふまえて、値上げを実施したいと説明しました。

1立方メートルあたり6円の引き上げ

基本料金は据え置き、使用料を2024年10月から1立方メートルあたり2円、2026年4月から4円と合計6円を2段階に分けて引き上げる計画です。4人家族で2か月50立方メートルの水を使う場合、年間18000円の値上げになります。新城市の浅尾洋平

議員は「市独自の値上げを決めたばかり。東三河で水道料金が一番高く、引越したいと話す市民もいる。さらに県営水道が値上げになり負担が増える」と奥三河の水源を守る人口自体が減っていく」と話し、危機感を訴えました。

日本共産党の各議員からは、物価高で住民生活の厳しさが続く中、入浴回数や掃除など減らしている実態があることも伝え、県の一般会計からの繰り入れをするなどして、値上げしないよう強く要望しました。

内田議員は、「6円も値上げする根拠は何か」「企業庁として大村知事部局とどのような交渉をしているのか」と質問しました。企業庁側からは「国からの物価高騰の交付金を、水道会計に入れてもらうよう財政当局に申請している」「値上げのシミュレーションでは、6円で年1億円の赤字である」との説明がされました。一般会計からの繰り入れ増額を求め、繰り返し大村知事部局と企業庁との交渉を強く求めました。

南知多町値上げまだ未定

内田議員は、1月30日、県の水道料金値上げ方針に対する町としての対応と、能登半島地震を踏まえて水道の耐震化対策について水道課長と懇談しました。県の6円引き上げに対する対応は、今の時点では決めていないとのことでした。しかし、このまま1立方メートルあたり6円を引き上げれば町民負担増となり、町民生活が圧迫されるのは明らかです。



(川柳コーナー)

1か月も経っても、まだ水も出ない、寒い、プライバシーのない避難所にいる人たちがいる。明日は我が身かと思う。先進国と言われている日本なのに何をしているのか。万博や軍事費に何兆円も使うよりも、命を健康を脅かされている能登の人々にすばやく適切な支援を。

当たり前でしょ万博よりもまずは能登

配水池・水道管の耐震化率の引き上げを

水道管幹管路耐震化率36.3%
配水池耐震化率7.9%
県の「令和3年度水道年報」によると、南知多町の水の元施設である配水池の耐震化率が、100%でなく7.9%と遅れています。水不足の能登地震のような状況が南知多でも起こるのではないかと心配されます。美浜町・武豊町は、耐震化率100%、東浦町92.7%です。

水道課に確認したところ、豊丘配水池・篠島・日間賀島配水池の古い配水池も現在利用しているので、この数値になっているとのことでした。実際は、岩屋配水池、篠島・日間賀島は新配水池が設備されているため、新配水池のみを利用すると92%になるとの見解が示されました。

しかし、水道施設の基幹耐震化率は36.3%で低いままで。早急の対応が求められています。大地震がいつ起こってもおかしくない今、町として安心・安全の町づくりのために耐震化を高める努力が求められています。



一般会計からの繰り入れ増も含めて町民生活が安心できる対応が必要とします。